

平成28年度 白馬高校学校評価

【学校教育目標】 真理と正義を愛し、勤労と責任を重んじ、創造力と自主的精神に充ち、地域と国際社会に貢献できる個性豊かで心身ともに健康な人材の育成をめざす。
【重点目標（中・長期的目標）】 ○この地域に貢献できる人材、同時に国際的視野に立ち様々な分野で活躍できるグローバルな人材を育成する。 ○すべての生徒に基礎的な学力をつけると同時に、発展的な力を養成する。 ○進路実現に必要な力をつけ、生徒個々の進路成就を図る体制をつくる。 ○地域社会との協働による教育体制をつくりあげ、全国のモデルになる学校を目指す。
【今年度の重点目標】 1. 生徒が「目標」と「意欲」を持ち、充実した学校生活を送れるように、「個に応じたきめ細かな指導」や「より一層の授業の工夫」を図り、「学習習慣の定着」と「基礎学力の向上」に努める。 公営塾とのより良い学習活動の連携を模索する。早い時期から発展的学力を身につけさせる指導を行う。 2. 体罰・いじめのない、安全で安心な学校をつくる。 3. 新入生オリエンテーションや個人面談週間などを利用して、早い時期から生徒に自己を探索させる。さらに、総合的な学習の時間や白馬学などを通して系統的なキャリア教育の推進を図ることで、職業観・勤労観を養い、個々の進路実現に向けて意識を高める。 4. 公開授業・出前授業などの充実や、レポートチャンネル・ホームページなどのさまざまな広報メディアを通じて、学校公開を推進する。また、地域や中学校・企業などとの交流を活性化させ、その教育力を学校活動に生かすことにより地域に開かれた学校を作る。 5. コミュニティスクール（学校運営協議会制度）を導入し、地域との連携をさらに深め、人的・物的資源の活用を進めるとともに、魅力的な教育活動の展開を図る。

◎教育活動に関するもの

	評価項目	評価の観点	担当(取りまとめ係)	目標・留意点(関係組織・評価方法等)	
学習指導と教育課程	新教育課程の教育内容	新教育課程の教育内容は、生徒に満足感を与えているか。	教育課程委	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート) 進路状況、資格取得状況に拠る。	
		類型別選択制について、選択群の構成並びにそれに属する科目の配置及び内容は適切であったか。			
	各教科	国語	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。	国語科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
			習熟度別授業や選択授業、また添削指導やさまざまな補習を通して、個々に応じた基礎学力の向上を図ることができたか。	数学科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート) 補習等を定期的実施できたか。
		英語	習熟度別授業や選択授業、また放課後や土曜日の補習を通して、個々に応じた基礎学力の向上を図る。ALTとのTTの授業や校外でのフィールドワークを通じて、生徒が生きた英語に触れ、英語を使うことの喜びや楽しみを見出せたか。	英語科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート) 補習を定期的実施できたか
			日本と世界の地理・歴史および政治経済に関する基本的事項を理解させ、地域に貢献できる態度を育むことができたか。	地歴公民科	地域の課題および地域を題材とした授業を立案し、実施することができたか。
		「観光」にかかわる学習活動をさらに拡充させ、より魅力的で、より教育効果の高いものとするための研究をしたか。	新規に発案した企画、および、改善を加えた企画を2件以上立案し、実施することができたか。		
		理科	実験・実習を活用しながら自然科学への興味を育て、演習や補習を通して、基礎学力の向上を図ることができたか。	理科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
			運動の実践を通して、技能及び体力の向上と主体性のある調和の取れた人格の形成を目指す。一人一人が健康に関して認識を持ち、日常生活の中で、適切な意思決定や行動選択をすることができるようにする。	保健体育科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
			生徒ひとりひとりの技能、技術の伸長を図ることができたか。完成した作品等が生徒に満足感、達成感を与えられているか。	芸術科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)
自立した生活を送るための生活力を身につけるために、実験・実習を活用して授業展開を工夫し、生徒が主体的に取り組むことができたか。			家庭科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)	
パソコンや電卓等、商業科目に興味を持たせ、社会で使える知識・技術(スキル)を身に付けさせることができたか。			商業科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)	
情報科	タブレットの積極的な活用を通し、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能の習得を図ることができたか。	情報科	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)		
	総合的な学習の時間	「総合学習」では、野外・自然・地域・民話などのテーマ別学習や進路別授業(進路補習や資格取得講座など)を実施できたか。	総合学習委	7割以上の生徒が満足感を得たか。(授業アンケート)	
「総合学習」により、生徒が地域について理解を深め、個々の進路実現に向けて意識を高めることができたか。					

	評価項目	評価の観点	担当(取りまとめ係)	目標・留意点(関係組織・評価方法等)
教務	教務	生徒・職員が安心感をもって取り組める環境整備を行う。	教務係	改善提案を20件以上、行なえたか。
		生徒に落ち着いた学習環境や機会を提供し、生徒の学力向上を図ったか。		授業時数の確保や7.12.3月の特別編成授業を通して、7割以上の生徒の学力向上を図ったか。
		地域やPTAとも連携し、地域や小・中学校などへのPRを活発化させたか。		HPなどによる情報発信、教員による中学校訪問・中高連携・小高連携授業を複数回実施できたか。
生徒指導	生徒指導	基本的な生活態度が確立されたか。	生徒指導係	8割以上の生徒が達成できたか。(服装、挨拶、マナー)
		健全な高校生活を送る(豊かな人間関係の形成及び問題行動の防止)ことができたか。		8割以上の生徒の評価が得られたか。
		さまざまな機会を通して、交通事故の防止ができたか。		各種指導を実施できたか。(交通安全講話、自転車乗車指導、)
		さまざまな機会を通して、盗難の防止ができたか。		移動や集会のたびに声かけはできたか
進路指導	進路指導	生徒が安心、安全で学校生活を送ることができたか。	進路指導係	地域、保護者、生徒、職員等からの情報を活用できたか
		生徒の志望や適性などを正確に把握し、適切な情報提供を行い、進路決定までいねいに指導することができたか。		指導に対して8割以上の生徒が満足したか(最終学年生徒へのアンケートによる)。
	生徒の希望と意欲に応じて、早い段階から進路目標を持たせ、模試や補習などを効果的に組み合わせた学習計画をつくり、受験方法などもふくめた戦略的な進路指導を行うことができたか。	指導体制を整え、生徒が目標に向かって学習を進めることができたか。		
	キャリア教育	組織的で系統的な教育活動を展開する中で、内容をさらに充実させ、生徒の人生観・勤労観を養い、目標を持って意欲的に行動することを促せたか。		就業体験、企業見学、職業人講話など、様々な学習の機会を与えることができたか。
学習指導	授業や公営塾との連携によって、生徒の学習状況を把握し、基礎学力向上を目指した取り組みを推進することができたか。	7割以上の生徒が学力向上を達成したか。(基礎力診断テスト結果)		
学校設定科目「代掻きタイム」を通して、小中学校の学習内容の理解と家庭学習などの学習習慣の定着を推進することができたか。				

生徒会	生徒会活動	生徒が達成感を体験し、自信をつけるため、さまざまな場面で生徒に活躍の場を提供できたか。	生徒会係	8割以上の生徒が達成感を実感できたか(アンケート実施)
		生徒会の将来を考え、組織や活動方法の見直しを行い、必要に応じて改善できたか。		年2回の実績の点検
	文化祭	早い時点から、生徒主体で計画の立案を行い、充実した内容の文化祭を実施できたか。		8割以上の生徒が満足できたか。入場者数300人以上を達成できたか。
	生徒の自主性	さまざまな機会を通して、生徒会活動に参加できたか。		8割以上の生徒が達成感を実感できたか(アンケート実施)
		ボランティアや国際交流などの公共的な面にも目を向けさせることができたか。		活動実績の点検
環境	校舎内外の美化に努め、学びの場としての環境づくりができたか。	環境	アンケートを実施し、その評価に拠る。	
	学校内外の安全点検を実施し、その対策と安全確保ができたか。		アンケートを実施し、その評価に拠る。	
生徒相談	特別支援教育	発達障害や不登校生徒へのカウンセリングや支援相談が適切に行えたか。またそのような生徒を支援するための校内体制は整ったか。	相談係	支援体制の見直しを行う。教職員対象の研修会を年1回以上行ったか。
1学年	学習面	基本的な生活習慣や社会的な生活習慣を身につけさせるとともに、基礎学力の定着と学習意欲の向上をさせることができたか。	1学年	アンケートを実施し、その評価に拠る。
	進路指導	進路保障につながるよう、系統的なキャリア教育のプログラムを活用し、様々な体験をすることにより、進路選択の幅を広げる。		アンケートを実施し、その評価に拠る。
	特別活動	総合的学習の時間において、地域について学び、将来において地域で活躍できる人材を育てる。		アンケートを実施し、その評価に拠る。
2学年	学習面	調査1週間前の7時限目補習や公営塾等を積極的に活用し、基礎学力の補充やAO・一般入試に対応できる力をつけることができたか。	2学年	7割以上の生徒が達成感を実感できたか(アンケート実施)
	進路指導	系統的なキャリア教育のプログラムを生かし、様々な体験をすることにより、生徒の進路選択の幅を広げることができたか。補習や公営塾等を積極的に活用し、基礎学力の補充やAO・一般入試に対応できる力をつけることができたか。		7割以上の生徒が達成感を実感できたか(アンケート実施)
	特別活動	総合学習の時間において地域について学び、学習に対する意欲を高めることができたか。研修旅行を通じ、生徒が職業観を養い、進路選択に役立てることができたか。		実りある研修旅行となったか。旅行後の生徒アンケート評価に拠る。
3学年	学習面	高校での学習の集大成として、個々に選択した科目のみならず、必修科目においても満遍なく、意欲的に学習に取り組むことが出来たか。	3学年	アンケートを実施し、その評価に拠る。
	進路指導	系統的なキャリア教育のプログラムを生かし、そのサポートとして各種適性検査などを実施したり、適切なアドバイスをすることにより、ベストの進路選択、並びにその実現ができたか。		進路状況に拠る。
	特別活動	総合学習の時間において、進路や自身のキャリアプランを考え、進路実現に向けて資格取得など必要な学習の成果を得ることができたか。		資格取得状況や進路状況に拠る。

◎学校運営に関するもの

	評価項目	評価の観点	備考		
連携	地域・保護者との連携	レポートチャンネルやHPを通して、学校の活動の様子や情報を地域に向けて積極的かつ効果的に発信し、その結果保護者や地域の方々の学校への理解が深まったか。	教務係	7割以上の保護者が満足感を得られたか(アンケート結果)	
		白馬村内の小学校、白馬・小谷等の中学校、その他行政・企業や地域との連携を深めることができたか。	教務係	各種活動ができたか。(年2回の教員による中学校訪問、中高連携・小高連携授業を複数回実施など)	
		学校設定科目・総合的な学習の時間・部活動等で、地域の専門家の援助を適切に仰ぐことができたか。	教務係	専門家による実績が前年度を上回ったか。(各教科・学年・部活動等)	
		日常的な担任との連絡やPTA総会・地区懇談会などを通して、保護者の方々との意見交換を充分に行うことができたか。	教務係(PTA担当)	7割以上の保護者が満足感を得られたか(アンケート結果・地区PTA)	
		海外の修学旅行生との交流や海外留学等への参加により、国際交流をはかることができたか。	国際交流委	交流事業の回数や来訪者数が前年度より上回ったか。	
管理運営	安全・安心な学校づくり	強歩大会・しろま祭等の学校行事への保護者や住民参加により、交流をはかることができたか。	教務係(PTA担当)	各行事の参加状況が前年度を上回ったか。	
		生徒がいじめや体罰を受けることなく、安全で安心な学校生活を送ることができたか。	コンプライアンス委	いじめ防止のための指針を作り、体罰やいじめ、その他学校の安全と安心を脅かすことがら起こらなかったか。さまざまな機会を通して、生徒への指導や、いじめ・体罰の状況確認をすることができたか。	
		生徒がより快適な環境で高校生活を送ることができるように、施設設備の整備や拡充に努力したか。	事務	教務係・予算施設委	
		校内研修	校内研修を定期的開催し、職員全体の意思疎通と共通認識を醸成するように努めたか。	教務係	生徒指導(人権教育)
			公開授業をお互いの授業を研究する機会と捉えて、積極的に研修できたか。	教務係	3回以上実施できたか。